

町民の暮らしの安全安心の確保は

町長 町民の生命財産を守るための対策を検討



町民の暮らしの安全安心確保に関する基本認識は

小形 2年続けての豪雨災害を受けての対応は。

町長 行政として早急に対応しなければならぬものと中長期的に対応していくものと整理し災害はいつでも起こりえるものという心構えで対策を検討していく。

治山対策は

小形 急峻な地形を有する本町の治山には、治山治水ダムと砂防ダムの整備を関係機関に要望を急ぐ必要があるのでは。

町長 町では治山施設26ヶ所について県に事業要望をしているが国の治山事業は「森林法」に基づく



整備が進む貝生地区砂防ダム

保安林の指定が必須となり、地域の方の理解と協力をお願いする。

人口減少対策は

小形 日本創成会議が試算した数字に対する町長の所見と対応策について問う。

町長 消滅する可能性があるという発表には

正直驚きを禁じ得ないものです。子育て支援策の充実を初め定住環境の整備、雇用の場の確保に努めていく必要があると考えている。

婚活支援の方策は

小形 男女の出会いの場の提供など婚活支援の必要性和具体的な方策をどのように考えるか問う。

町長 地域活力の維持にも非常に大事な課題だととらえ婚活支援に取組んでいる町民の方や近隣市町との連携をはかり、成婚数の増加につなげていきたい。

町の活性化策となる第6次産業の支援は

小形 農業所得の向上につなげていくべき町長の基本的な認識を問う。

町長 6次産業に取り組む方々の潜在的な技術を十分に発揮することの出来る環境の整備の支援を行なっていく。